



2021年2月8日

各位

会社名 株式会社テー・オー・ダブリュー  
 代表者名 代表取締役社長兼最高経営責任者  
 (CEO) 秋本 道弘  
 (コード番号：4767 東証第一部)  
 問合せ先 取締役兼執行役員管理本部長  
 梶岡 二郎  
 T E L 03-5777-1888

### 業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2020年11月13日に公表しました「2021年6月期第1四半期決算短信[日本基準] (連結)」において未定としておりました2021年6月期の業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

#### 1. 業績予想について

##### (1) 2021年6月期 通期連結業績予想数値 (2020年7月1日～2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	11,644	224	262	158	3.53
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年6月期)	19,325	2,316	2,332	1,584	35.26

##### (2) 2021年6月期 通期個別業績予想数値 (2020年7月1日～2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	10,666	81	753	704	15.68
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年6月期)	16,305	1,335	1,871	1,460	32.49

### (3) 業績予想の理由

業績予想につきましては、2021年2月の緊急事態宣言の延長に伴う受注環境の変化、東京2020オリンピック・パラリンピック開催の有無など、現時点においても事業を取り巻く環境に不透明な状況が続いておりますが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき業績予想を算定いたしました。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う案件の自粛が継続するなど大きな影響を受けましたが、すでに2021年1月の緊急事態宣言の再発令によるイベントの延期・減額等の影響がでており、第3四半期以降も厳しい経営環境が継続することが予測されるため売上高の減少を見込んでおります。そのため販売費及び一般管理費の削減にもつとめてまいります。なお、業績予想に東京2020オリンピック・パラリンピック案件は含めておりません。

これらを踏まえ、2021年6月期の連結業績につきましては、売上高116億44百万円（前年同期比39.7%減）、営業利益2億24百万円（同90.3%減）、経常利益2億62百万円（同88.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益1億58百万円（同90.0%減）を見込んでおります。

今後、状況の変化により必要な場合には、あらためて業績予想の変更を検討し公表いたします。

なお、2021年6月期通期連結業績予想の経常利益と2021年6月期通期個別業績予想の経常利益の差および、2021年6月期通期連結業績予想の親会社株主に帰属する当期純利益と2021年6月期通期個別業績予想の当期純利益の差の主な要因は、当社の100%子会社である株式会社ティー・ツー・クリエイティブからの配当金です。

## 2. 配当予想について

### (1) 2021年6月期配当予想

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回配当予想 2020年11月13日公表		—	—
今回発表予想		6円80銭	12円90銭
当期実績	6円10銭	—	—
前期実績（2020年6月期）	16円50銭	8円50銭	25円00銭

(注) 2020年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。

2020年6月期第2四半期末の配当金は、当該株式分割前の金額であります。

### (2) 配当予想の理由

当社の配当方針は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと認識しており、安定した配当を継続して実施していくことを基本としております。

配当金につきましては、2016年6月期より、連結配当性向換算で50%を上限として配当額を決定してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による業績の悪化は一時的なものであるとはいえ、現執行体制の責任であり、この執行体制が将来に向けた戦略を確実に実行することにより業績回復、更なる成長は確たるものとなると考え、以下の通り配当方針を一時的に変更し、「連結配当性向換算で50%を上限とする」を削除いたします。

(変更前)

連結ベースの配当性向 40%で算出された 1 株当たりの配当金と、決算発表日の前日の終値に株価配当利回り 4.5%を乗じて算出された 1 株当たりの配当金のいずれか高い方を最低配当金として配当金を決定することとしております。なお、内部留保の確保という基本方針に基づき、連結配当性向換算で 50%を上限として配当額を決定いたします。

(変更後)

連結ベースの配当性向 40%で算出された 1 株当たりの配当金と、決算発表日の前日の終値に株価配当利回り 4.5%を乗じて算出された 1 株当たりの配当金のいずれか高い方を最低配当金として配当金を決定することとしております。

2021 年 6 月期は、連結配当性向換算で 50%上限とするという方針を一時的に撤廃し、上記計算に基づき決算発表日の前日（2021 年 2 月 5 日）の終値に株価配当利回り 4.5%を乗じて算出された 12 円 90 銭が年間配当金となります。従いまして、中間配当金を 1 株につき 6 円 10 銭、期末配当金を 6 円 80 銭とさせていただく予定です。

(注) 上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上